慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	デジタルサイネージコンテンツの制作者の負荷軽減を目的としたコンテンツ生成支援システムの開発
Sub Title	Development of contents generation support system to reduce loads of creator produce about digital signage contents
Author	海老原, 悠(Ebihara, Yu) 稲蔭, 正彦(Inakage, Masahiko)
Publisher	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
Publication year	2010
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	本研究は, デジタルサイネージの長尺コンテンツ制作ならではの時間や労力の負担を軽減させるべく, コンテンツ制作の過程の「素材集め」に着目した. 楽曲と画像の雰囲気が似ている組み合わせを感性情報を基に自動的に選定し, ユーザにその組み合わせを推薦することで, コンテンツ制作における素材選択の時間を軽減するシステムの開発を行った. そしてそれらを効率よくコンテンツに仕上げるアプリケーションのユーザインタフェースを制作した. 本論文では, デジタルサイネージのコンテンツを専門に制作するクリエータ2名に制作課題を与え, それに基づいたインタビューと行動観察を実施した. そこで得たクリエータの手順や制作過程に対する不満を分析し, システムのプロトタイプの仕様を導きだした.本システムの特徴として, エンジンが出力した素材の組み合わせを提示し画像と楽曲のマッチングの結果を参照してコンテンツを生成していくことと, 従来では横に走っていたタイムラインを縦型にして一覧性に優れた形にしたことで, 自由な創作活動を妨げず, かつ効率よくコンテンツの制作を行えるということが挙げられる. そして本システムに対して人々がどのような経験を得られたかを映像制作経験者を対象に評価した.
Notes	修士学位論文. 2010年度メディアデザイン学 第73号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40001001-00002010-0073

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2010 年度　　修士論文

デジタルサイネージコンテンツの制作者の負荷軽減を目的とした コンテンツ生成支援システムの開発

海老原　悠

慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科

本論文は慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科に
修士 (メディアデザイン学) 授与の要件として提出した修士論文である。

海老原　悠

指導教員：

稲蔭　正彦 教授　（主指導教員）

徳久　悟 講師　（副指導教員）

審査委員：

稲蔭　正彦 教授　（主査）

徳久　悟 講師　（副査）

太田　直久 教授　（副査）

デジタルサイネージコンテンツの制作者の負荷軽減を目的としたコンテンツ生成支援システムの開発

内容梗概

本研究は，デジタルサイネージの長尺コンテンツ制作ならではの時間や労力の負担を軽減させるべく，コンテンツ制作の過程の「素材集め」に着目した．楽曲と画像の雰囲気が似ている組み合わせを感性情報を基に自動的に選定し，ユーザにその組み合わせを推薦することで，コンテンツ制作における素材選択の時間を軽減するシステムの開発を行った．そしてそれらを効率よくコンテンツに仕上げるアプリケーションのユーザインタフェースを制作した．

本論文では，デジタルサイネージのコンテンツを専門に制作するクリエータ 2 名に制作課題を与え，それに基づいたインタビューと行動観察を実施した．そこで得たクリエータの手順や制作過程に対する不満を分析し，システムのプロトタイプの仕様を導きだした．本システムの特徴として，エンジンが出力した素材の組み合わせを提示し画像と楽曲のマッチングの結果を参照してコンテンツを生成していくことと，従来では横に走っていたタイムラインを縦型にして一覧性に優れた形にしたことで，自由な創作活動を妨げず，かつ効率よくコンテンツの制作を行えるということが挙げられる．そして本システムに対して人々がどのような経験を得られたかを映像制作経験者を対象に評価した．

キーワード

デジタルサイネージ, コンテンツ制作支援, 感性情報, ユーザインタフェース, 動画像

慶應義塾大学大学院　メディアデザイン研究科

海老原　悠

Development of Contents Generation Support System to Reduce Loads of Creator Produce about Digital Signage Contents

Abstract

This paper introduces the application interface development of contents generation support system to reduce loads of creator producing about digital signage contents. This support platform was focussing on "materials compilation" through the process of contents production. It automatically selects complimentary music and graphics in order to recommend the suited combination to the user.

By providing assignments, this research develops interviews and observations of two digital signage contents creators. Then, the specifications of the prototype were defined by analyzing the creators experience based on the production process and its methods. Throughout the series of action enhanced by the application, this paper evaluates the experience of contents creators.

Keywords:

Digital Signage, Contents Creation Support, KANSEI Information, User Interface, Moving Image

Graduate School of Media Design, Keio University

Yu Ebihara